

# 市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々月の広報うつのみやで入選作品を発表します。

特選

## オーバーコート新しくして同級会

中岡本町 中沢 智子

●特選の選評 何年ぶりかで同級会が開かれたのでしょね。久しぶりの再会でも大丈夫。まず自己紹介を兼ねて現状報告をすると思議……十分もたつとすっかり昔の懐かしいお顔に戻って、昔話に盛り上がり、時間のたつのも忘れそう！作者は今年の同級会にオーバーコートを新調したと言う。きつと年齢より若々しく、はつらつと元氣一杯で楽しい時間を過ごされた事でしょう。最後に再会を約してお開きになったことでしょう。

## 俳句



加茂都紀女先生

入選

声が飛ぶ男女対抗雪合戦

山本2丁目 鈴木 豊子

手を振りて園バス送る今朝の春

西刑部町 佐藤 榮子

しもつかれ子らに伝える紙具材

桜5丁目 遠藤 芳孝

青空に炎真つ直ぐにどんどの火

緑2丁目 片嶋 青水

特選

## 二十年を妻と歩みて見る店は町をつくりて町にとけこむ

陽東6丁目 原子 吉彦

●特選の選評 経営二十年の間には大変なこともあったでしょう。これまで二人で良く頑張ってきたら良かったです。頑張らなければできない仕事だと思ふ。こういう歌は素直が一番。「町をつくりて町にとけこむ」がとても良い。温かいお茶を買いに寄りたくなった。

## 短歌



藤本 都先生

入選

こがらしのすぎし朝の苔庭に  
散り敷く白き山茶花の花

下岡本町 高尾 信尚

「ばかつちよ」とふ別名持ちしジヨウビタキ  
健気に里(冬)連れて来る

清原台1丁目 三木 紋子

九十の叔母の作りし豆餅を  
焼けばほんのり里の香りす

西2丁目 佐藤 順子

方代や子規の旅した地を訪ね  
話す代わりに文学碑撮る

日の出1丁目 大島 康正

特選

## 要支援受けて。ペットを介護する

雀の宮6丁目 増渕 和子

●特選の選評 独居老と老いたペットの暮らしにもある老々介護の問題。要支援の飼い主が要介護のペットの世話をするほほ笑ましくも切実な現状を捉えた句です。慰めを与えてくれるかわいいペットより先に逝くことのないよう健康に注意して頑張りましょう。

## 川柳



佐藤隆久先生

入選

三回目打ち止めしたい手術台

陽東3丁目 伊澤 秀夫

猫を抱き嫁には言えぬ愚痴聞かす

古賀志町 天貝 久子

染み白髪派手を纏って口達者

下栗町 大塚 榮子

邯鄲の夢は見ぬまま八十路坂

清原台6丁目 小太刀 節子

### 俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句(首)以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面=住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面=作品(漢字にはふりがなも)・作品への思い。
- 毎月20日(消印有効)までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎(632)2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市☎をご覧ください。

ID 1022877



▲市☎

表

3208540  
住所・氏名・壇名  
宇都宮市役所  
広報広聴課

裏

作品への思い  
作品への思い